Berlin

疾走する
ベルリン

ドイツ
GERMANY

恒例のクリスマス市が、大晦日まで延長?

ドイツでは11月末から各地で「ヴァイナハツマルクト」と呼ばれる、クリスマス市が開催される。ホットワインの香りや暖い冬空に映えるイルミネーションに惹かれ、観光客からベルリン子までが集まり、毎年大賑わいだ。

通常、市は12月24日で終わりを迎える。しかし最近、開催期間を延長する市が増えてきた。たとえば、シャルロッテンブルグ宮殿前の市は、クリスマス明けの日曜日まで開催期間を延長。どもクリスマス休みで行くとこがない……というお客を目当てのロマンティックなムードで人気のジャンダルメンマルクトの市は、大晦日までDJイベント……と、もうクリスマスなのかなんなのか、よくわからない。

伝統に背く、商業主義的だと批判も多いが、楽しければすべてよし?

農家で栽培される素朴な市は、クリスマス前4週間の毎週のみ開催される。

上・左:屋台はソーセージや菓子が中心。クリスマス飾りの屋台もあり。下:18世紀の建築が美しいジャンダルメンマルクトの市は入場料も取る。

キリスト生誕の情景を屋根に飾ったソーセージの屋台。

東ドイツのグルメの味を、いま、再び!?

物資や食料が不足していたといわれる東ドイツは、食べ物が美味しくないという印象が強い。「それは偏見!」と言い切るのは、ダニエル・ヘルビックとクライド・ザンド、東ドイツ出身のふたりは、「東側にもグルメがあった」ことを証明したい」と、今年1月に「オステル・ダス・レストラン」を開き、好評を得ている。

店の料理は、東ドイツの料理本を参考に、地元から仕入れたオーガニック素材を使い、軽めにアレンジ。当時の雰囲気をリアルに伝えたい、東ベルリン始まの世代を選択し、壁には社会主義リアリズムのアートを飾り、家具はもちろん、ウェイトレスの制服も東ドイツ製と徹底した。

当時の食卓で料理を口に運べば、まるで当時にタイムトリップしたかのような体験も味わうことができるのだ。

右:東ドイツ時代はサーカス学校として有名な西ベルリンのアンドレアスプラッツ。左:世界の一部にレトロな看板が光る。

左上:左下とともにオーナーのお薦めの2品。鹿の薄肉きのこソース添えは18.50ユーロ。左下:濃厚なチョコムース3.7.50ユーロ。右:東共はすべて厳選者で使われていたもの。

Ostel Das Restaurant
●Wriezener Karree 5
☎(030) 2068-7549
⊡OSTBAHNHOF
⏲18時~24時
休月
www.ostel-restaurant.de

あなたの声とメッセージ、ニットに編みます。

いままでにはないデザインが話題のニットブランド「トリコトン」。しかし一見、何変いドットが単なるだけない機能に見えるのだが……?

実はこのデザイン、声や音の周波数をそのままのコードに変換して編まれたもの。プロダクトデザイナーのハナ・ヴィーゼナーとファッションデザイナーのマグダレナ・コーラー、そしてテクノロジーを研究するハネス・ヌーマンによって、考案、具現化された。

手順は簡単。トリコトンのサイトから、セーターやマフラーといった製品を選び、パソコンのマイクに音声を収録するだけ。数日後には、オリジナルニットが手元に届く。

見ただけではコードを読むことはできないが、サイトにデータを呼び出して、音を聴くことができる。秘密のメッセージを込めた特別なプレゼントにぴったりなのだ。

ボール・オースターの小説「ガラスの街」の一節を編み込んだシリーズ。
上:マフラー59.5ユーロ
右:セーター198.5ユーロ
www.trikoton.com

ヴィーゼナー「私とコーラー、『音が織った秘密の言葉を身に纏う』というイメージです」

ベルリン在住の建築デザイナーのアイデアを扱うショップ「ベルリンマート」には建築モチーフが豊富。ネットショップ上に情報が載れるので、機械を多忙な日々、情報可。

Web design for Berlinmart

ジャンル・ブランド・写真 photographer for Trikoton Design
文・内藤貴子 Text for Takako Naitoh

★Penは月2回刊、1日と15日発売。

●1ユーロ=約109円(2010年12月現在)